

## 多肉植物とサボテン

石川花の会 土屋 照二

### I. 多肉植物とサボテン？

植物体の一部または全部が肥厚して、水を貯める機能を持ち、乾燥に耐えるようになったものを多肉植物という

サボテンは多肉植物だがサボテン科植物のみ、他の科は多肉植物として扱う  
サボテンを多肉植物と言う人はほとんどいないが、多肉植物をサボテンと言う人は多い

### II. 多肉植物

#### 多肉植物とサボテンの見分け方は？

サボテンも多肉植物であることから共に形が酷似するものがあるが、サボテンらしくないサボテンや種々の形の多肉植物がある

\*サボテン：刺を形成する刺座があり、葉の変形物である刺は抜けても再び形成される

\*多肉植物：刺がないか、あっても表皮から直接出ていて刺座がなく脱落での再発生はない

(多肉植物は葉：スベリヒユ、パイナップル、ベンケイソウ、ツルナ、ユリ、リュウゼツランの各科、茎：ガガイモ、キョウチクトウ、フウロウソ、トウダイグサの各科、根：キク、スベリヒユの各科が多肉化)

### III. 多肉植物とサボテンの育て方

\* 多肉植物：ほとんど全世界に分布していて、成育は自生地の気候風土に大

大きく影響される

主に降雨時期に左右され、夏降雨期地に自生する温暖期成育型と、冬降雨期地に自生する冷涼期成育型がある

\*サボテン：南北アメリカ、ハワイ、ガラパゴス 寒さに強いものが多い

\*栽培場所と管理：成育期には日当たり、風通しの良いところに置き、過湿にならないように気を付けて水は十分与える。高温期には日中の水やりを控え、早朝に行う

\*培養土：多肉植物またはサボテン用の市販土が利用できる

自分で作る場合は、水はけと通気性に重きを置き、粗めの川砂に、赤玉土(1/3～1/4) 基本土に、さらに腐葉土を 20%、入手可能なら燻炭や牡蠣殻を 5%程度加えても良い

\* 肥料：緩効性肥料を少量、またはごく薄い液肥を時々やる

\* 植え替え：3月下旬～5月上旬か9月中・下旬（成育期直前または初期）

冷涼期成育型多肉植物は9月中・下旬

小さ目の鉢を用いるか、平鉢に寄せ植えすると良い

\* 繁殖：実生、株分け、挿し木、接ぎ木

多肉植物では根挿しや葉挿しができる種類がある

挿し木と葉挿しではやや湿った用土に行い、その後1週間程度は水やりをしない